HIGA NEWS

2024年11月　第64号
編集・発行　一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会（HIGA）

会員の撮った一枚　　下瀬美術館（広島県大竹市晴海）

エミール・ガレの庭

心に響くアートの世界

広島県大竹市に2023年3月に開館した下瀬美術館は、美術館に加え、10棟のヴィラやフランス料理レストランを備えた施設「SHIMOSE」として人気を集めており、アートに囲まれた特別な体験が楽しめます。（5ページの記事に続く）

（一社）ひろしま通訳・ガイド協会（Hiroshima Interpreter & Guide Association）は、「全国通訳案内士」国家試験の合格者で構成する非営利団体です。
〒730-0031 広島市中区紙屋町二丁目2-2　紙屋町ビル2F　TEL: 082-245-8346　Email: higa@urban.ne.jp　URL: https://j-higa.net/

新人研修に参加して

英語会員　富久保 雅美

6月2日、広島県内外の各地から集まった17人の参加者がJR広島駅前で初顔合わせ。期待と緊張の入り混じった面持ちで研修が始まりました。まず、宮島に向かうバスの中で、広島や宮島の概要説明。2分という設定枠の中でいかに効率よく喋るかが苦心のしどころ。お客さまにまだ見えていない場所をどう説明するか、注意を引きつけられるのは2分から3分くらいとの講師からのアドバイスを受け、聞き手の視点から考える必要性を学びました。「広島は、今や水辺の豊かな緑の多い都市。戦争で疲弊した国の人々は、復興を遂げた広島の姿に感銘を受け、自分達の未来にも希望を感じる」というエピソードも伺い、素晴らしい事だと思いました。

フェリーで宮島到着後は、帰りの船の集合時間と場所をお客様に明確にお伝えするため、言葉だけでなく視覚的に伝える必要性を確認。年間乗降客数が日本一の宮島港では、臨機応変な旅程管理や乗船場で他のお客様を妨げない配慮も必要。厳島神社の美しさはやはり感動的でした。お客様の感動に寄り添いながら、簡潔な説明ができれば良いなと思いました。

その後訪れた縮景園は、歴史ある美しい大名庭園であるばかりでなく、原爆投下後の避難所としての姿もありました。広島だからこその事実を伝えることも大事なことですね。

平和記念公園では、インパクトの強い原爆ドームをはじめ、様々な慰霊碑がありました。それぞれに、関係者の深い悲しみと祈りが込められているのを実感。原爆犠牲者のうち、7万人もの人々が家族の元に辿り着けず一つ所に眠っているとは何という事でしょうか。各スポットでは、まず写真を撮りたいお客様の心情を察して、説明を始める前に写真撮影の時間をとるといった配慮も教わりました。

今回の新人研修は誠に学びの深い研修でした。

第1回学習会 広島の風土が育むウイスキーとジン

フランス語会員　関村 美弥子

6月8日、廿日市市のサクラオブルワリーアンドディスティラリーにおける第1回学習会に参加しました。題して「広島が誇るジャパニーズウイスキー＆ジンについて学び、飲む！」。訪日客にも人気が高い日本のウイスキーについて、いつかはその奥義に触れてみたいと願っていました。

34人の参加者は2グループに分かれ試飲を行い、製造工程を見学しました。製造の要となる蒸留にはドイツ製のポットスチルを使用しているそう。沸点の違いを利用してアルコールを抽出する技術は化学の基本とは言え、美しい銅製の蒸留器は化学とは別の魔法の作用を想像させます。基本となる原料の香りも体験しました。ウイスキー特有の「ピート香」のもととなる、泥炭を燃料に乾燥されたモルトは正露丸のような香りです。そして個性をつくる数多くの植物素材（ボタニカル）にはジンの香りの基本となるジュニパーベリー、淡い紫色の花をつけるハマゴウなどが使われるほか、牡蠣の殻といった変わり種もあります。広島産にこだわった「桜尾ジンLIMITED」にはなんと17種類ものボタニカルが使用されているのだそう。まるで香水の調香のような作業です。

ウイスキーは蒸留後、今回見学した桜尾の貯蔵庫と県北の戸河内にある貯蔵庫で3年以上熟成されます。それぞれの立地環境の違いがウイスキーの個性をつくるのだそう。試飲した「宮ノ鹿」は瀬戸内海の陽気が感じられるスモーキーでまろやかな味わい、県北でゆっくり熟成した「戸河内」は華やかな澄んだ香りです。100年以上の酒造りの歴史を持つ同社が、広島の風土で育むウイスキーとジン、訪日客にも自信をもってお勧めしたいと思いました。

広島平和記念公園対岸
元安橋たもとのオープンカフェ
Caffè Ponte
カフェ・ポンテ
【住所】広島市中区大手町1丁目9-21
【予約専用電話】082-247-7471
年中無休

大正十四年創業
宮島 藤い屋

〒739-0588 広島県廿日市市宮島町 1129
TEL 0829-44-2221　FAX 0829-44-2022
オンラインショップ http://www.fujiiya.co.jp

第2回学習会「そもそも万博って?? 」

英語会員 大倉 真由美

9月8日、第2回学習会が標記のテーマでオンライン開催されました。来年4月から10月にかけて大阪・関西万博が開催されるのを前に、八幡毅副会長の進行のもと、会員4人が万博の概要や歴史などをそれぞれの切り口で紹介するプレゼンテーションが行われ、万博に関する知識を深める貴重な機会となりました。

日本が初めて参加した1867年のパリ万国博覧会では、日本家屋を設営し3人の日本人女性が生活を再現したそうです。初めて見る日本人に多くの野次馬が集まり、大きな反響を呼んだとか。この様子はフランスの週刊誌にも取り上げられたとのことです。

また、幕府使節団を率いた徳川昭武（慶喜の弟）が初めてココアを飲んだエピソードや、随行した渋沢栄一が世界の金融事情を視察した話も興味深いものでした。また、漆器や手細工品、和紙が博覧会で最高賞を受賞したこと、大豆製品が高く評価されたことも印象的でした。

浮世絵が西洋絵画にどんな影響を与えたかについては、色使いや空間の使い方など、具体的に詳しく解説して頂き、大変勉強になりました。日本の伝統建築様式が海外の建築家に与えた影響についても触れられ、あらゆる分野での日本文化の影響力を知ることができて、誇らしい気持ちになりました。日本が万博を商機として巧みに活用したこともうかがえました。

京都が原爆から免れた理由についても考察されました。万博をきっかけに日本ブームが巻き起こり、そして戦争が近づくにつれ日本のイメージが悪化しブームはいったん終焉を迎えましたが、日本文化を大切に思う人々がアメリカにいて、そのシンボルが京都だったのではないかという話には胸が熱くなりました。

現在、再び日本ブームが起こり、アニメが世界を魅了しています。津山睦美副会長による「万博クイズ」では、大阪・関西万博スペシャルサポーターにはハローキティ、ポケモン達も含まれていることを知りました。彼らも含めてどんな物語が生まれるのか、来年の万博が楽しみになってきました。

2024年度通訳案内研修（登録研修機関研修）のご案内

理事・英語会員 渡邉 妙子

2018年1月4日の通訳案内士法の改正に伴い、全国通訳案内士は2020年度から5年に1度、観光庁が登録した研修機関（登録研修機関）が実施する研修を受講することが義務づけられました。

登録研修機関であるHIGAは、毎年12月にこの通訳案内研修を実施しています。5年に1度受講義務のある法定研修では、旅程管理や災害時の対応等、通訳案内士が実務において求められる知識についてオンライン等で研修を行っています。またHIGA独自の自主研修では、ガイドに関心のある一般の方も対象に、ガイドに役立つテーマについて学びます。今年はこれらの研修を12月7日（土）に実施する予定です。

今年の自主研修は、当協会の登山愛好者が結成したサークル「HIGA山の会」が中心となって、「弥山ガイドを頼まれたらー弥山ガイドの基礎知識ー」をテーマに実施します。コロナ禍以降、宮島の弥山登山を希望するインバウンド客が増えるとともに、宮島を終日観光するツアーでは宮島ロープウエーが組み込まれています。ロープウエー終点の獅子岩駅まで、あるいは獅子岩駅から弥山山頂までのハイキングを希望された場合、どんな点に気をつけてご案内すべきか、登山ルート、ガイドポイントをはじめ、安全上の管理などについてお伝えする内容となっています。皆様のご参加をお待ちしております。

◇ 開 催 日 2024年12月7日(土)
◇ 研修内容 9:30～12:00（法定研修）
13:30～15:30（自主研修）
◇ 開催方法 オンライン研修
（Zoom WebinarによるLive配信）
◇ 申込期間 10月21日～11月15日
(会員以外の全国通訳案内士有資格者等)
10月21日～11月29日
(会員以外の自主研修のみ受講希望者)
◇ 詳細は当協会ホームページ https://j-higa.net/
の「通訳案内研修」をご覧ください。

※HIGA会員には、別途ご案内します。

HIGAの活動報告(2024年5月～2024年10月)

6月 2日（日） 通訳ガイド実務新人研修
6月 8日（土） 学習会「広島が誇るジャパニーズウイスキー＆ジンについて学び、飲む！」
広島県廿日市市 株式会社サクラオブルワリーアンドディスティラリーにて
9月 8日（日） 学習会「そもそも万博って??」（オンライン開催）

「そうじゃ、総社へ行こう！」古代と共存するワンダーランド

英語会員　尾﨑 美樹

今から約2000年前の弥生時代から古墳時代の5～6世紀頃にかけて、岡山県全域と広島県東部、香川県島しょ部、兵庫県西部にまたがる「古代吉備王国」があり、大和、筑紫、出雲と並ぶ古代日本の四大王国の一つであったとされています。その「吉備王国」の中心とされている地域が現在の岡山県総社市とその周辺と推測されており、吉備文化発祥の地とも言われています。

古代吉備の繁栄を物語る古墳群、中でも全国4番目の大きさを誇り、自由に立ち入りできる古墳としては全国一の規模を持つ造山（つくりやま）古墳には時空を超えたロマンを感じます。被葬者は5世紀前半の吉備を支配した王と伝えられています。また、吉備では当時大変貴重であった鉄の生産が盛んに行われていました。朝鮮半島から生産技術が伝わってきたとのことですが、この百済からの渡来人が住んだとされる古代山城「鬼ノ城（きじょう）」は日本百名城の一つであり総社市の見どころとなっています。また、吉備路の代表的景観と言えば、備中国分寺にある岡山県唯一の五重塔です。田園風景の中に建つ高さ34メートルの五重塔は圧倒的な存在感があります。

鬼ノ城　©岡山県観光連盟

そんな吉備エリアには、JR総社駅前から古墳群を抜け、吉備津神社、吉備津彦神社を経て岡山駅前に至る「吉備路サイクリングロード」が整備されています。自然と歴史を感じられる海外からのお客様にもお勧めのルートで、サイクリングと岡山名物の白桃を使ったパフェ作りを組み合わせた英語のツアーもあります。

市の名前の起こりとなった市街地の中心に鎮座する「備中国総社宮」は、平安時代の後期に備中国内の324社を集めて合祀した神社です。

総てを引寄せる力を持つ∞（無限大）の謎のまち、今では着々と人口も増えています。田舎過ぎず、都会過ぎない歴史ロマンのパワースポット、「そうじゃ、総社へ行こう！」

Peach Interpretation 提供

仕事の現場から

長崎クルーズガイドを担当して

会長・英語会員　畝崎 雅子

4月、長崎港からのクルーズ船エクスカーション「浦上天主堂・平和公園・稲佐山パノラミックコース」（5時間）を担当しました。

38人のお客様とともに午前10時に長崎港を出発。長崎港と長崎市内の各観光場所は近いため、コンパクトにバス内で説明をすることが大切です。

まず、江戸時代の日本とオランダとの通商場所が再現されている「出島和蘭商館跡」（通称「出島」）を見学しました。その後、爆心地に近い「浦上天主堂」を拝観。続いて「平和公園」および隣接する「原爆落下中心地公園」（通称「爆心地公園」）で、約1時間碑巡りを行い、最後に「稲佐山」を見学しました。

この日は朝方は小雨が降っていましたが、幸いツアー出発時には雨は上がり、薄曇りの空の下、傘なしで観光ができ、稲佐山からの展望もまずまずでした。前日打ち合わせの時間に同じコースの4人のガイドで細かく情報を共有できたのがありがたかったです。

出島での滞在時間は1時間。30分程度ポイントの箇所をガイドした後、自由散策としました。浦上天主堂の拝観時間は30分。15分程度一緒に行動し、その後、15分程度自由散策としました。平和公園見学は平和公園碑巡りだけの場合と、爆心地公園碑巡りも併せる場合があります。前日の打ち合わせで、希望者には爆心地公園もガイドすることとしました。希望する人はいつも多いそうです。この日もほとんどの人が爆心地公園の碑巡りにも参加されました。

稲佐山はロープウェイまたはスロープカーで展望台に向かうことができます。眺めの良いスロープカーがお客様に特に好評と思われます。スロープカーは定員80人で、他の観光客と一緒になる場合、次の便を待つこともあります。この日はタイミングよく乗車できたのは幸いでした。お客様は各見学先の滞在時間を楽しそうに過ごしておられました。帰りのバスの車内での説明を熱心に聞いてくださり、和気あいあいのうちに終了しました。

多彩な魅力「下瀬美術館」

英語会員　福島 満美子

（表紙の続き）
「SHIMOSE」の中心となる下瀬美術館は、丸井産業株式会社を創業した下瀬家のコレクションを公開・保存する施設です。雛人形、雛道具、エミール・ガレのガラス作品や家具をはじめ、マティスやピサロを含む数多くの画家による西洋美術、東山魁夷、加山又造、小磯良平などの近代日本美術など、幅広いジャンルと多彩な作家による作品が揃っています。

今年6月には、ユネスコ本部で創設されたベルサイユ賞「世界で最も美しい美術館（The World's Most Beautiful Museums）」にも選ばれ、海外からの注目も集まっています。

設計は、世界的に活躍する建築家の坂茂（ばんしげる）氏が手がけました。独自の「可動展示室」は瀬戸内の島々をイメージしたもので、カラフルなキューブと瀬戸内海の景色のコントラストが印象的です（表紙の写真）。館外の「エミール・ガレの庭」では、工芸家エミール・ガレの作品に登場する草花を中心に、季節の花々を楽しむことができ、屋上の「望洋テラス」からは宮島など瀬戸内の島々が一望できます。

時間と予算に余裕があれば、フレンチレストランでの食事や、坂氏のデザインが光るヴィラでの宿泊、夜間のライトアップ鑑賞もおすすめです。

私は昨年9月に初めて訪れ、今回10月に再訪しましたが、庭の花や木が育ち、より瀬戸内海の風景と調和してきたように感じました。また、平日にもかかわらず、団体客などで館内はにぎわっており、レストランが予約で満席だったことに驚きました。

JR宮島口駅から電車で15分の大竹駅で下車、さらに無料シャトルバス（主に土日祝運行）で気軽にアクセスできる唯一無二のアート空間を、ぜひ体験してみてください。

仕事の現場から

イタリア人あるある！

英語・イタリア語会員　中野 雅弘

イタリア旅行者は朝から陽気。ガイドの際も出会ってから移動の公共交通機関にたどり着くまでに、2、3のジョークを飛ばして来ます。もちろんそんな人ばかりではないですが、基本陽気です。そして割と早い段階で昼食やコーヒーの話になります。日本での旅も終盤の広島では、本場のエスプレッソを恋しがる人もそろそろ出てきます。

イタリアの人達にとって広島のグルメはお口に合うようで、お好み焼きもラーメンもだいたい笑顔で喜んで召し上がります。ただ、穴子は苦手な人が多く、牡蠣も好き嫌い半々。あんこも苦手な人が多い印象。「旅行でご飯は一番大事！」っていう人が多いのには私も同感。

陽気でナンパなイメージが先行していますが、意外に真面目な人も多いです。日本文化を尊重していたり、「郷に入れば」の精神なのかきちんとルールを守り、イタリアで見るそれとは違うことが多いように思います。とはいえ、そこはアモーレの国の人々。目のやり場に困るくらいいちゃつくカップルもいます。愛があっていいことです。

一度、サッカー大好きな旦那様がとにかく日本のサッカーの事をどんどん聞いてきたことがありました。こちらも調子に乗っていろいろ説明していると、その奥様から、「いつも散々イタリアでサッカーの話聞かされてるのに、日本でも聞かされないといけないの？」と、旦那様共々怒られてしまいました。それ以降カルチョ話はしすぎないようにしています。

※カルチョはイタリア語で「サッカー」の意

つばめ交通株式会社
〒732-0066　広島市東区牛田本町4-5-10
配車センター　082-221-1955
https://www.tsubame.co.jp/

東洋観光グループHD
●お好み焼●鉄板焼
徳川
総本店
広島市中区胡町5-12 東劇ビル2階
082-241-7100

ＨＩＧＡ文化講演会のご案内

2024年度のHIGA文化講演会では、「広電の路面電車と広島のまちづくり」と題して、広島電鉄株式会社 広報・ブランド戦略室の藤田睦氏にお話を伺います。

広島の街に欠くことのできないとても身近な存在である「路面電車」を通じて、被爆80周年を来年に控えた変わりゆく「ひろしま」について見つめ直し、広島のまちづくりに新たな視点を加えていただければ幸いです。皆様のご参加を心からお待ちしています。

日時：2024年11月16日(土) 13:30 - 15:30（受付開始13:00）

場所：JMSアステールプラザ 4F 大会議室（広島市中区加古町4-17）

講師：藤田（ふじた） 睦（むつみ） 氏 （広島電鉄株式会社 広報・ブランド戦略室）

演題：「広電の路面電車と広島のまちづくり」

定員：100名（参加無料）

申込方法：QRコードまたは以下のURLからお申し込みください。
受付が完了しましたら、申込確定のメールをお送りします。
https://forms.gle/1hRjXjUcm86Hs4CKA

お問合せ：（一社）ひろしま通訳・ガイド協会（HIGA）事務局
TEL ： 082-245-8346 Email ： higa@urban.ne.jp

【ご協力ありがとうございます】 ～with sincere thanks～

HIGA賛助会員の皆様（2024年11月現在 順不同、敬称略）

団体会員： 広島商工会議所 広島トヨペット（株） （有）はやし
JTB協定旅館ホテル連盟広島支部 つばめ交通（株） （株）藤い屋
（一社）広島県観光連盟 カフェ・ポンテ 岩惣 広島県民文化センター
あいおいニッセイ同和損害保険（株） 東洋観光（株）
（株）JTBグローバルマーケティング＆トラベル

個人会員： 古谷 英明 延本 真栄子 吉中 康麿 藤井 倫子 清水 憲吉
辻 孝和 吉井 敏弘 河野 博行 くらわんか 青野 重信
藤井 芳子 田島 謙治 花やしき 畝崎 辰登

賛助会員としてご協力くださる団体、個人の方を募集しています。ぜひこの機会に入会をご検討くださるようお願いいたします。年会費は一口につき団体会員2万円、個人会員5千円です。団体会員には、HIGAニュースに広告掲載の特典があります。
お申込み、お問合せは当協会事務局 082-245-8346（月～金 11:00～16:00）まで。

本誌へのご感想・ご意見をお寄せください。HIGA事務局へEmail: higa@urban.ne.jp でどうぞ。
【表紙の写真・文】 英語会員 福島 満美子
【編集後記】前号では外観を撮影するだけだったエディオンピースウイング広島だが、９月下旬、ついにサッカー観戦をすることができた。選手の声やボールを蹴る音が耳に届く客席で迫力満点の試合を楽しめたのはもちろん、スタジアムへつながる歩道橋で夕暮れの広島城の撮影スポットを見つけたり、完成したばかりのふかふかの芝生広場に寝転んだり。思った以上に新たな楽しみ方を見つけられた。（ふ）

みやじまの宿 岩惣
〒739-0522 広島県廿日市市宮島町もみじ谷
TEL 0829-44-2233 http://www.iwaso.com/

焼がきの はやし
おかげさまで七十二周年
宮島で一年中
生がきが食べられます
Tel.0829-44-0335